

「北九州市障害者計画」の「横断的視点」について

1 「横断的視点」の「4」に関するこれまでの流れ

○5月当初案

障害のある女性、子ども及び高齢者に配慮した取組みの推進

○8月修正案

障害のある子ども、高齢者及び複合的に困難な状況に置かれた人に配慮した取組みの推進

○11月修正案

複合的に困難な状況に置かれた障害のある人（特に女性、子ども及び高齢者など）に配慮した取組みの推進

○12月パブコメ実施時

障害のある女性をはじめ、子どもや高齢者など複合的に困難な状況に置かれている障害のある人に配慮した取組みの推進

（修正理由）

現実的に女性が複合的に困難な状況に置かれているケースが多く見られていること、また、障害の問題は、男女平等やジェンダーフリーとは別の問題と整理すべきと考えることから、「女性」の表記を入れています。

ただ、「女性」の表記を全面に出すのではなく、「障害のある女性をはじめ、」と例示の形で「女性」の表記を入れて、「子どもや高齢者など」と「など」で受け、「など」の部分で表記以外の属性（男性や性別にとらわれない人など）を含める表現としています。